

2026年度公共政策学教育部＜専門職学位課程＞入試説明会 事前質問回答

◎説明会申込時に登録された質問事項に関して、予め回答可能なものをまとめました。

◎こちらに掲載されていないものは、当日の説明に回答が含まれるものや回答できないものです。

◎当日の質疑に際して参考になさってください。

大区分	中区分	質問内容	回答等
出願	出願前、職業人選抜	職業人選抜にて応募予定です。 選考においては、事前に自分の師事したい先生と話しておくことが大切かと考えていますが、そのような場合、直接先生にコンタクトをしてよいものなのか、何か学務の方からおつなぎいただけるものなのか、教えてください。	研究室訪問は行っておりません。また、研究論文・リサーチペーパーの履修・提出は必須ではありませんが、博士課程への進学やダブルディグリーでの留学を検討されている場合は、必要になる場合があります。履修・提出を希望される場合は、ご入学後に希望する指導教員にご相談ください。
その他	入試説明会	説明会の録画を後から視聴する機会があればと希望いたしますが、サイトの設置はございますでしょうか。（説明会が平日の関係からです。）	録画は後日公開予定です。公開日は未定です。
出願資格	推薦者、出身学部	推薦者は必要でしょうか？また、どの学部を卒業しても出願資格はありますか？	一般選抜・職業人選抜ともに推薦書の提出必須です。なお、ご卒業された学部は問いません。詳細は募集要項を参照してください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/admissions/master-course-admissions/application-guide-and-form/
入学後の学習	留学	キャンパスアジアのプログラムへの申請は修士一年生の時期に行う形ですか？2年生の時でも可能ですか？また、申請時に提出するTOEFLのスコアは入学試験時に提出されたものが適用されますか？	北京大学のダブルディグリーは、入学前の2月に申請・選考します。その他は、修士1年生の秋から冬に申請します。TOEFLは、直近のものを出しなおしても構いません。ただし、キャンパスアジアのモード3は2025年度で終了し、2026年度には新たに文科省への申請があるため、現行と同じ内容でプログラムが実施される保証はないことにご留意ください。
出願資格	所属機関	中央官庁からの受験について、条件等あれば教えていただけます。	個別のご所属先に関する条件等はありません。職業人選抜の場合、出願資格に在職者に関する出願要件が記載されています。詳細は募集要項を参照してください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/admissions/master-course-admissions/application-guide-and-form/
入学後の学習	研究論文	研究室訪問は実施していないとのことですが、論文を書くことになった場合、研究室は入学後いつどのように決定されるのでしょうか	研究室へのご所属は任意となりますので、特定の時期や手順はありません。研究論文の指導教員については、ご入学後に希望される指導教員の先生にご自身でご相談ください。
入学後の学習	研究論文、留学	全コースにて、卒業論文は必須ですか。	研究論文の履修は必須ではありませんが、ダブルディグリー等で留学される場合は、留学先で必須となる場合があります。また、博士課程への進学には研究論文は必須となりますので、目的に応じてご自身でご確認ください。
その他		上記9.に関して既にGraSPP Newsletter No. 76およびNo. 77を拝読させていただいています。「イベント情報」を受信したことはないですが、ニュースレターとは別モジュールから配信されるものですか？	「イベント情報」については、過去セミナーの参加申込にて「イベント情報」の配信を希望した方へ、複数イベント開催予定があるタイミングで不定期に配信しています。
出願	出願書類、検定料	日本政府(文部科学省)奨学金留学生ですが、検定料免除の申請手続きにあたって、どのような書類が必要か教えてください。	日本政府(文部科学省)奨学金留学生であることが記載されている証明書（例：国費外国人留学生証明書等）をご提出ください。ご不明な場合は、事前にお問合せください。
入学後の学習	研究論文	プログラム修了後に海外大学院の博士課程の進学を検討しておりますため、在学中にリサーチペーパーではなくて、英語で学術的な修士論文、つまりThisisを作成したいと考えております。プログラム合格前に、事前に論文指導のお願いを特定の教員にさせていただくことなどは可能でしょうか。 また、Thesisの授業はシラバスを参照しますと、通年科目ですが、やはりダブルディグリーをやりながらThesisの執筆を行うことは時間的に困難なものなのでしょうか。	入学前に論文指導の教員を特定することはできません。留学中は留学に専念していただくことが原則ですが、指導教員がオンライン等での指導を承認する場合は、リサーチペーパー及び研究論文の執筆は可能です。入学後に希望する指導教員とご相談ください。
入学後の学習	研究論文、リサーチペーパー	昨年度の説明会事前質問への回答で、「研究論文やリサーチペーパーを履修する場合は、指導教員の先生が必要となります」という一文が記載されていました。この場合、自分の希望する先生にお願いすることができるのでしょうか。それとも、受け付けない先生がいたり、各先生に定員があったりと、ある程度の制限があるのでしょうか。	研究論文、またはリサーチペーパーの指導教員については、ご入学後に希望される指導教員にご自身にてご相談ください。また、指導教員を担当できる教員は、一定の条件がありますので、ご留意ください。
入学後の学習、その他	選抜方法、入試説明会	職業人選抜と一般選抜で、入学後に違いはありますか？この説明会をあとから録画で拝見することはできますか？	修学要件や修了要件については、合格された選抜別による違いはありません。また、入試説明会の録画は後日公開予定ですが、公開日については未定です。

2026年度公共政策学教育部＜専門職学位課程＞入試説明会 事前質問回答

◎説明会申込時に登録された質問事項に関して、予め回答可能なものをまとめました。

◎こちらに掲載されていないものは、当日の説明に回答が含まれるものや回答できないものです。

◎当日の質疑に際して参考になさってください。

大区分	中区分	質問内容	回答等
入学後の学習	留学	海外留学に興味はありますが、金銭面の詳しい説明が聞けると幸いです。東京大学で支払う学費で行けるのか、それとも現地の大学の学費を払うのか。または経済的支援で奨学金などはあるのか、などお聞かせいただくと助かります。	入試説明会では留学に関する説明も含まれていますので、当日ご確認ください。
入学後の学習	留学	キャンパス・アジア・プログラムに参加したいと考えていますが、中国籍の応募者は北京大学とのダブルディグリープログラムには応募できないと伺いました。そこで質問なのですが、北京大学とのダブルディグリーに参加しない場合でも、中国籍の学生が、例えば東京大学とソウル大学のダブルディグリーに応募することは可能でしょうか？	中国籍の学生は、北京大学以外（ソウル大学校、シンガポール国立大学）への留学は可能ですが、キャンパスアジアは元来文科省が日本人学生の留学を促進するためのプログラムなので、原則として日本人学生が優先されます。また、キャンパスアジアのモード3は2025年度で終了し、2026年度には新たに文科省への申請があるため、現行と同じ内容でプログラムが実施される保証はないことにご留意ください。
入学後の学習	授業	Capstone演習は具体的にどのような授業内容なのか、どのような特徴があるかについて教えていただけると幸いです。	Capstone演習は、学生のチームがこれまでに修得した知識やスキルを用いて、外部のクライアントから提示された課題に対して解決策を考察し、クライアントからフィードバックを受けるものです。
出願	コース	国際公共政策コースと国際プログラムコースの併願を考えているのですが、国際公共政策コースと国際プログラムコースでは、MPP/IPが英語を使用言語とする以外に、内容ではどのような違いがありますか。MPP/IPの方が履修の自由度は低くなるのでしょうか。どのような点から、どちらのコースにするか決めれば良いのでしょうか。	国際公共政策コースと国際プログラムコースでは、修了要件等が異なります。また、履修の自由度についてはそれぞれの履修要件に基づきます。
入学後の学習	研究論文、リサーチペーパー	リサーチペーパーや研究論文の執筆は、修士2年次に行うのが一般的でしょうか。また、研究を進めるにあたり担当教員の方からはどの程度のご指導・ご助言をいただけるのでしょうか。	リサーチペーパーは1年次から履修することができますが、研究論文は2年次のみ履修することができます。リサーチペーパー、研究論文の進め方については、ご入学後に希望される指導教員とご相談ください。
入学後の学習	出願前	昨年度の募集を確認したところ、教員訪問等は受け付けていないとの事でしたが、研究や指導体制について、詳しく知りたい場合、説明会の他に、こういった確認方法を想定していますでしょうか。	研究論文、ならびにリサーチペーパーの履修を希望されている場合は、ご入学後に希望される指導教員とご相談ください。その他の情報については、ホームページをご参照ください。
その他	進路	I am quite interested in MPP/IP program and also would like to participate in Campus Asia program. I'm wondering how the alumni have strived to succeed in job hunting despite not being in Japan. I would appreciate if you could show some examples.	CAMPUS Asia alumni have demonstrated strong results in job placement. Some took the National Civil Service Examination before departure and joined the Ministry of Foreign Affairs (MOFA) after graduation. Others passed the bar exam beforehand and became lawyers. Several participated in the Boston Career Forum and secured positions there, while some returned to Japan temporarily to attend interviews.
入学後の学習、その他出願資格	TOEFLスコア、留学	・交換留学はすべてのコースから応募可能であるが、ダブルディグリーの場合はMPP/IPからのみ応募可能であるという認識で合っていますでしょうか。 ・一般選抜と職業人選抜の合格者のTOEFL平均点は、同程度でしょうか。	ダブルディグリーでは少なくとも入学時のコースは問いません。LSEとANUは、出発前までにMPP/IPに転コースする必要があります。一般選抜と職業人選抜の合格者のTOEFL平均点は、別々には公表していません。
出願資格	職業人選抜	現在フリーランスで仕事をしていますが、職業人選抜で受験は可能でしょうか。	職業人選抜の出願資格については、職業人選抜の募集要項をご確認ください。また、募集要項に記載の出願資格における「官公庁・企業等」から個人事務所等の自営業者を排除しているわけではありません。
入学後の学習	就業との両立	仕事を続けながら就学することが可能か。	就業しながら就学されている在学生の方はいらっしゃいますが、個々人によってご状況が異なりますので、ご自身にてご確認ください。
その他	入試説明会	説明会の時間帯は仕事でどうしても参加が難しいのですが、アーカイブなどは共有していただけますでしょうか？	入試説明会の録画は後日公開予定ですが、公開日については未定です。
入学後の学習	留学	ダブルディグリープログラムで取得できる学位や、提携校で履修できる科目について、提携校ごとに具体的にお伺いしたいです。	各協定校の詳細については、毎年秋に行われる説明会の資料をご参照ください。 https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-activities/double-degree-program/application/